



2020年1月31日

各位

会社名 株式会社アイ・アールジャパンホールディングス
 代表者名 代表取締役社長・CEO 寺下史郎
 (コード番号: 6035 東証第一部)
 問合せ先 経営企画部長 古田温子
 (TEL. 03-3519-6750)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、2019年10月31日に公表いたしました2020年3月期（2019年4月1日～2020年3月31日）の通期連結業績予想につきまして、以下のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2020年3月期連結業績予想数値の修正（2019年4月1日～2020年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	6,500	2,600	2,600	1,750	98.24
今回修正予想 (B)	7,100	3,210	3,210	2,180	122.37
増減額 (B-A)	600	610	610	430	—
増減率 (%)	9.2	23.5	23.5	24.6	—
(ご参考) 前期実績 (2019年3月期)	4,827	1,434	1,447	976	54.82

2. 修正の理由

2019年10月31日に通期業績予想の上方修正を開示いたしましたが、それ以降、主力のSRコンサルティング業務に加え、PA・FAを結合させた投資銀行業務が企業間の支配権争奪ならびにアクティビスト対応に関する大型プロジェクトの業務受託契約の締結が増加したことにより、通期見通しにおける売上高を7,100百万円（前回予想時6,500百万円、600百万円増加）、営業利益、経常利益をいずれも3,210百万円（前回予想時いずれも2,600百万円、610百万円増加）、親会社株主に帰属する当期純利益を2,180百万円（前回予想時1,750百万円、430百万円増加）へと再度上方修正をいたしました。この結果、2020年3月期の売上高は前期比47.1%増、営業利益は前期比123.8%増、経常利益は前期比121.7%増、親会社株主に帰属する当期純利益は前期比123.2%増となり、オフィス・システム・AI等の基盤整備への投資が完了したことで、売上増加に伴い収益性が一段と向上する見込みです。なお、人材への投資は最優先課題としてより格段に注力し、優れた人材の確保を急速に進めてまいります。

※ 上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上